

## 喫煙者に選ばれる店づくりを今から

## 〈喫煙ブース『スモーククリア』〉



1人用の『スモーククリア』を2台連結させて設置。女性でも気兼ねなく利用できる

福島県を中心にホール11店舗を展開するアラジン。「日常を彩るアミューズメント空間」を店舗コンセプトに、居心地の良いプレイ環境を提供している。

来年4月の改正健康増進法の施行を見据え、今年7月に郊外店、駅前店の立地特性が異なる2店舗にエルゴジャパンの喫煙ブース『スモーククリア』を導入した。その理由を六戸管理部長はこう説明する。

「ひとつは、お客様に対して、来年4月以降もホールではタバコを吸える環境を用意します、ということを周知するため。もう一つは、

先行して導入することで様々なデータを取り、未導入のグループ店で導入する際に活用したいと考えました」

紙巻タバコと加熱式タバコは、それぞれ専用コーナーを作ったほうがいいのか。女性専用コーナーを作るべきか、台数はどの程度必要なのか、といったことを検証していきたいという。



事務所の休憩スペースでもスタッフが気兼ねなくタバコが吸える環境を整備した

須賀川市の『アラジン・ライト館』は『スモーククリア』の1人用2台、4人用2台を、店内に2カ所ある休憩コーナーの近くにそれぞれ設置した。喫煙者も非喫煙者も快適に過ごしてもらうためだ。

『スモーククリア』はコンパクト設計なので、限られた空間でも設置できますし、設置後の移動も簡単です。また、屋内排気・屋外排気にフレキシブルに対応してもらえる点も、『スモーククリア』の長所だと思います」

さらに、事務所の休憩室にも1人用を1台設置した。これは20歳未満の従業員への配慮からだ。

「企業として働く環境を整備していますが、受動喫煙の防止にもしっかりと対応していきたいと考えています。といって、タバコを禁止にしたり、喫煙は屋外でとなると喫煙者にとってストレスになり

ます。休憩時間は一服してリフレッシュしてもらいたいですし、非喫煙者にもストレスなく休憩してもらいたい。それぞれが気持ち良く働いてもらうために喫煙ブースは必要ですし、限られた事務所のスペースに置くには、『スモーククリア』が最適です。また、煙を前面で吸引してくれるのでスタッフの服にもニオイがつかず、接客の際にお客様に不快な思いをさせることもありません」

「来年4月1日以降、お客様に選ばれるホールになるためには、最適な喫煙環境を整えられるか否かにかかっています。今後、グループ店にも『スモーククリア』を導入することを検討していきます」と話す。



休憩コーナーに4人用の『スモーククリア』を2台連結させて設置。緑を置いてリラックスできる喫煙空間に